

まるくなつて厳寒耐えます

十勝川のオオハクチョウ

【幕別】厳しく冷え込んだ十勝川で8日、白い球形になって寒さに耐えるオオハクチョウの姿があった。

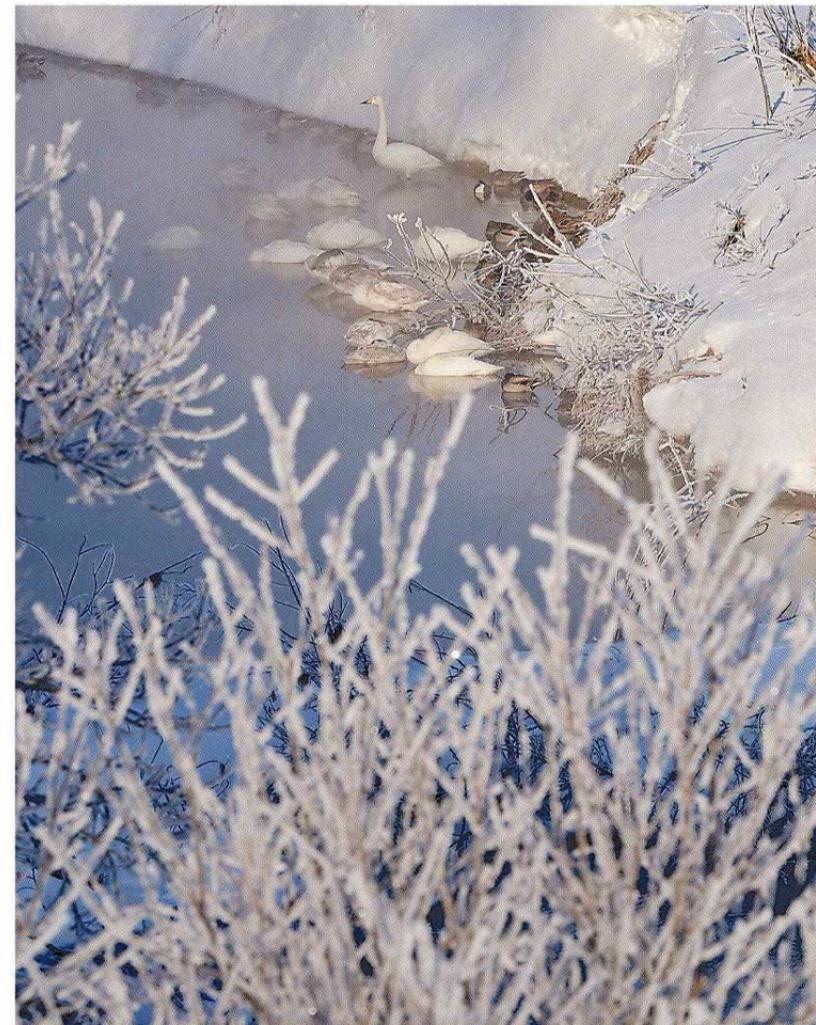
この日の十勝管内は幕別町糠内で氷点下22.4度をはじめ、広い範囲で同15度前後まで冷え込んだ。

幕別町と音更町を結ぶ十勝中央大橋から見る十勝川は、流れに沿って水蒸気の上がるけあらしが発生し、河畔林の枝先に霧氷が付着して、表面を白く光させていた。シベリア地方から渡って越冬しているオオハク

チョウ15羽ほどが中州に近い水面で、背中側に首を回して丸くなり眠っていた。

日本野鳥の会十勝支部の室瀬秋宏支部長は「この付近で越冬するオオハクチョウは例年50羽から100羽程度。4月ごろには、さらに南から繁殖地を目指す群れと共に、北に向かって姿を消す」と話している。

(加藤哲朗、写真も)
けあらしや霧氷に覆われた十勝川で朝を迎えたオオハクチョウなど=8日午前7時50分、幕別町の十勝中央大橋から撮影



2023年2月9日（木）朝刊 帯広・十勝版 17ページ(記事は再編集しています)



①見出しの「まるくなつて厳寒（げんかん）耐（た）えます」について、次の問題に答えましょう。

- (1) 「まるくなつて」と同じ意味で使われている言葉を見つけ、□に合う言葉を入れましょう。

形になって

- (2) 「まるくなつて」とは、オオハクチョウのどんな様子を表しているでしょう。

次の□に文中の言葉を入れて完成（かんせい）させましょう。

背中側に

を回して眠っている様子

②オオハクチョウはどこから十勝川にやってきたのでしょうか。